

# ビチューロンシルバー

## 色見本帳

【改訂第2版】

40年以上の実績と信頼が、  
鋼板屋根を腐食から  
長期間まもります。





# パールシルバー仕上げで抜群の長期防食効果!!

「鋼板屋根は、腐食が早い・塗り替えが面倒・長期間安心できない」

ビチューロンシルバーは、こうした皆さまのご要望に応じて開発し、すでに40年以上の実績をもつ鋼板屋根用強力保護防食塗料です。大気汚染の影響を受ける工業地帯や都市周辺、塩害地域でも、各種の鋼板屋根を確実に保護し、美観を保ちます。苛酷な環境でも6~7年、一般地域なら10年以上の耐久力。トータルコストを考えれば、見逃せないメリットです。

## 6つの特長が屋根をまもります

### 1 強力に密着する

塗膜はやわらかく、弾力性に富んでいます。鋼板へ強力に密着し、表面クラックを起こしません。

### 2 優れた防食力、抜群の耐候性

塗膜が厚く、腐食・発錆の原因となる水分、塩分、亜硫酸ガスなどの侵入を防ぎ、優れた防食性能を長期間持続させます。また、強力な防食効果のある天然アスファルトを使用しているため、塗装直後は、色ムラや雨や霧により表面が黒ずむ場合もありますが、日時の経過と共に、優美なパールシルバーになります。

### 3 熱を反射する

太陽光線を効率よく反射するため、室内温度の上昇を緩和します。また、夏、冬の急激な温度差(+80℃~ -50℃)に対しても安定した塗膜性能を発揮します。

### 4 音をさえぎる

屋根を打つ雨の音や風の音を吸収し、やわらげる防音効果があります。

### 5 屋根を甦らせる美しい装い

仕上りは、半光沢のパール調で、上品な雰囲気です。



※カラータイプについては「マッキンレーン」をご参照ください。

### 6 作業性に優れる

高粘度用エアレススプレーで高効率な作業ができ、工期が短縮できます。また、塗装時の塗料の飛散が少ないローラー塗装も可能です。

#### ●ビチューロンシルバーの成分

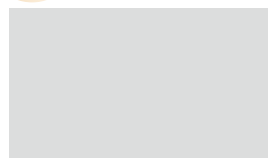
天然アスファルト(瀝青系樹脂)をベースに、特殊合成樹脂、合成ゴム、高純度リーフィングタイプのアルミパウダーと界面活性剤を配合したハイビルド型防食塗料です。これらの成分の相乗効果によって、優れた性能を発揮します。

#### 用途

- 各種鋼板屋根
- 鉄鋼構築物
- 配管プラントなど

とくに防水、防食、塩害防止、耐亜硫酸ガスなどの性能が要求されるものに最適です。

#### 標準色



#### ▲パールシルバー

※色見本は、紙に塗装しておりますので、実際の施工とはパターンに多少の違いが生じる場合があります。ご了承ください。

#### 塗膜外観 (ローラー塗装)



※外観の一例です。写真は、ローラー塗装の見本板をライティングして接写撮影したものです。実際の外観は、見本板でご確認ください。

## 荷姿

### ■下塗り材

- ビチューロンCプライマー……………20kg
- エボラ#1プライマー-N …………… 16kg
- エボラオールプライマー A液 …… 14kg } 16kgセット    3.5kg } 4kgセット
- エボラオールプライマー B液 …… 2kg }                    0.5kg }
- エボラ#3プライマー A液 …… 15kg } 16.5kgセット    1kg } 1.1kgセット
- エボラ#3プライマー B液 …… 1.5kg }                    0.1kg }
- NT金属用プライマーECO A液 …… 15kg } 16.5kgセット    3kg } 3.3kgセット
- NT金属用プライマーECO B液 …… 1.5kg }                    0.3kg }

### ■上塗り材

- ビチューロンシルバー……………18kg

### ■シンナー

- ビチューロンシンナー……………16ℓ
- NT塗料用シンナーA ……………16ℓ
- NTエポキシシンナーECO…………16ℓ

### ■副資材

- NTプチルテープAL……………50mm×20m  
100mm×20m

## 数々の試験で実証された優れた性能

### 塗膜性能

試験項目	試験結果	試験方法
密着性	100 / 100	2mmゴバン目テープテスト
耐屈曲性	異常なし	20mmφマンドレル180°折り曲げ
耐衝撃性	異常なし	室温 500g× $\frac{1}{2}$ in×30cm(デュボン式)
耐寒衝撃性	異常なし	-20℃×3時間放置後 500g× $\frac{1}{2}$ in×30cm(デュボン式)
耐温水性	異常なし	40℃温水240時間浸漬
耐熱性	異常なし	80℃乾燥炉340時間
防錆性	クロスカット部点蝕	JIS K 5600 5%食塩水 塩水噴霧器500時間
耐塩水性	異常なし	5%食塩水(20℃)240時間浸漬
促進耐候性	異常なし	サンシャインウェザーメーター 1000時間
屋外曝露	異常なし	5年以上

### 塗料性能

項目	性能値
加熱残分	60±2%
密度	1.0±0.1 (23℃)
粘度	6~8Pa・s (23℃)
指触乾燥	10時間 (23℃)



# 標準塗装仕様

●ビチューロンシルバーおよびビチューロンCプライマーの塗布面は柔らかいため、歩行する際は十分に注意してください。特に夏場は、足形が付きやすくなります。

## 標準塗装仕様

工程		材料の調合	塗り回数	使用量	1回当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整		●披塗面のゴミ、ホコリ、油脂類はシンナー除去や高圧水洗などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。				
下塗り		※下塗り材は、下塗り材適応確認表およびフローチャートからお選びください。 ※新設構造物の場合は、下塗り省略可能。新設の場合には、油分が付着している場合がありますので完全に脱脂を行ってください。				
上塗り	スプレーの場合	●ビチューロンシルバー……………18kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	1回	0.35~0.4 kg/m <sup>2</sup> /回	45~51 m <sup>2</sup> /缶/回	—
	ローラー、刷毛の場合	●ビチューロンシルバー……………18kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	2回	0.2~0.25 kg/m <sup>2</sup> /回	72~90 m <sup>2</sup> /缶/回	12時間以上 (23℃)

## 重防食仕様

工程		材料の調合	塗り回数	使用量	1缶当たりの塗り面積	施工間隔
下塗り		※下塗り材は、下塗り材適応確認表およびフローチャートからお選びください。				
中塗り	スプレーの場合	●ビチューロンCプライマー……………20kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	1回	0.35~0.45 kg/m <sup>2</sup>	44~57 m <sup>2</sup> /缶/回	24時間以上7日以内 (23℃)
	ローラー、刷毛の場合	●ビチューロンCプライマー……………20kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	2回	0.2~0.3 kg/m <sup>2</sup>	66~100 m <sup>2</sup> /缶/回	
上塗り	スプレーの場合	●ビチューロンシルバー……………18kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	2回*	0.35~0.4 kg/m <sup>2</sup> /回	45~51 m <sup>2</sup> /缶/回	12時間以上 (23℃)
	ローラー、刷毛の場合	●ビチューロンシルバー……………18kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	3回*	0.2~0.25 kg/m <sup>2</sup> /回	72~90 m <sup>2</sup> /缶/回	12時間以上 (23℃)

## 改修推奨塗装仕様

工程		材料の調合	塗り回数	使用量	1回当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整		●披塗面のゴミ、ホコリ、油脂類はシンナー除去や高圧水洗などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。 ●フクレ、ワレ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは、電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、披塗面を清掃してください。				
下塗り		※下塗り材は、下塗り材適応確認表およびフローチャートからお選びください。				
上塗り	スプレーの場合	●ビチューロンシルバー……………18kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	2回*	0.35~0.4 kg/m <sup>2</sup> /回	45~51 m <sup>2</sup> /缶/回	12時間以上 (23℃)
	ローラー、刷毛の場合	●ビチューロンシルバー……………18kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	3回*	0.2~0.25 kg/m <sup>2</sup> /回	72~90 m <sup>2</sup> /缶/回	12時間以上 (23℃)

※下地の状態や建物の環境によっては、塗り回数を減らすことも可能です。状況により塗り回数が増す場合があります。

## 下塗りの仕様

工程		材料の調合	塗り回数	使用量	1缶当たりの塗り面積	施工間隔
下塗り	スプレーの場合	●ビチューロンCプライマー……………20kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	1~2回*	0.35~0.4 kg/m <sup>2</sup> /回	50~57 m <sup>2</sup> /缶/回	24時間以上7日以内 (23℃)
	ローラー、刷毛の場合	●ビチューロンCプライマー……………20kg ●ビチューロンシンナー……………0~2kg	1~3回*	0.2~0.3 kg/m <sup>2</sup> /回	66~100 m <sup>2</sup> /缶/回	24時間以上7日以内 (23℃)

※状況により塗り回数が増す場合があります。

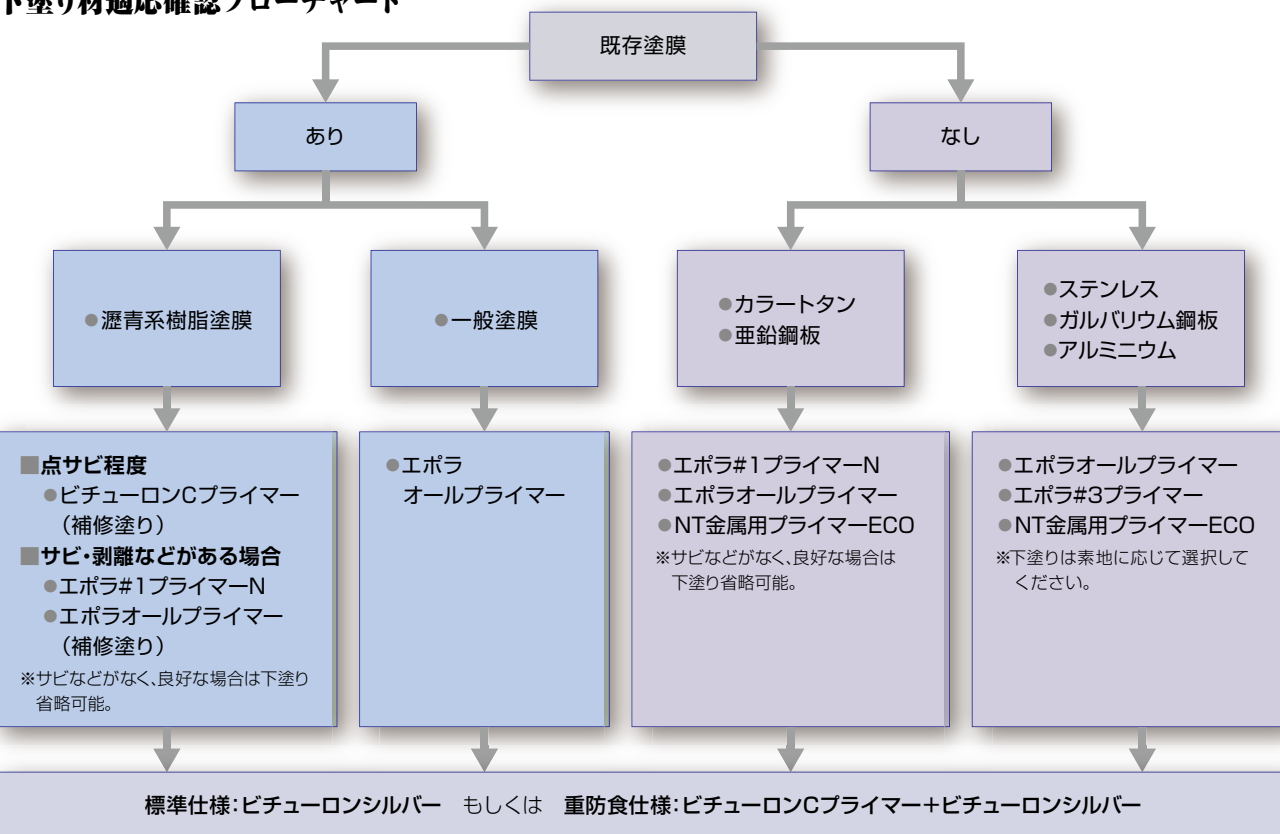
工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	1回当たりの塗り面積	施工間隔
下塗り	●エポラ#1プライマー-N……………16kg ●NT塗料用シンナー-A(刷毛、ローラー)……0~0.8kg ●NT塗料用シンナー-A(スプレー)……………0~1.6kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.13~0.16 kg/m <sup>2</sup> /回	100~123 m <sup>2</sup> /セット/回	4時間以上7日以内 (23℃)

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	1回当たりの塗り面積	施工間隔
下塗り	●エポラオールプライマー-A液……………14kg ● “ “ “ “ B液……………2kg ●NT塗料用シンナー-A(刷毛、ローラー)……0~1kg ●NT塗料用シンナー-A(スプレー)……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内 (23℃)	0.13~0.16 kg/m <sup>2</sup> /回	100~123 m <sup>2</sup> /セット/回	3時間以上72時間以内 (23℃)

工程	材料の調合	施工方法	塗り回数	使用量	1回当たりの塗り面積	施工間隔
下塗り	●NT金属プライマー-ECO A液……………15kg ● “ “ “ “ B液……………1.5kg ●NTエポキシシンナー-ECO(刷毛、ローラー) …0~0.8kg ●NTエポキシシンナー-ECO(スプレー)……………0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	1回	0.14~0.16 kg/m <sup>2</sup> /回	103~117 m <sup>2</sup> /セット/回	3時間以上72時間以内 (23℃)



## 下塗り材適応確認フローチャート



## 下塗り材適応確認表

下塗り材	下地							
	銅板	亜鉛鋼板	カラートタン	アルミニウム	ステンレス	ガルバリウム鋼板	既存瀝青系樹脂塗膜	既存一般塗膜※
ビチューロンCプライマー	○	○	○	—	—	—	○	—
エポラ#1プライマー-N	○	○	○	—	—	—	—	—
NT金属用プライマー-ECO	○	○	○	○	○	—	—	—
エポラオールプライマー	○	○	○	○	○	○	—	○
エポラ#3プライマー	—	○	○	○	○	○	—	—

※油性系ペイントなどが複数回塗装されている場合は、必ず基材との付着性の確認や試験塗装にて確認を行ってからご使用ください。シリコン系やフッ素系塗膜の場合も確認してください。

## エアレススプレーの標準塗装例

塗装機	高粘度型エアレスポンプ(ポンプレシオ30:1~45:1)
使用チップ	グラコ #541、#643、#645、#647
塗装圧	二次圧8.8MPa以上
パターン幅	30~35cm
吹出量	6~9kg/分
塗装速度	50~60cm/秒
乾燥膜厚	約180~220μm



## 施工上の注意事項

### ●素地調整

#### ■未塗装の場合

- 被塗面のゴミ、ホコリ、油脂類を高圧水洗浄やシンナーなどにより除去し、乾燥した清浄な面にしてください(4種ケレン程度)。素地が鋼板や亜鉛鋼板、カラートタンの場合は、下塗りを省略することができます。
- ガルバリウム鋼板など塗料が付着しにくい素地は、簡単な研磨を行ってください(RC種)。
- 高圧水洗機やスプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止のため、十分に養生を行ってください。
- 発錆部は、ワイヤーブラシやサンドペーパー、電動工具などで入念にサビを除去し、時間を空けずに金属用プライマーを塗り塗してください。サビが残っているとサビが出やすくなります。また、ケレン後、水分によ

りサビが発生する場合がありますので早めに拾い塗りをしてください。

- 未塗装の場合は、素材の種類により、下塗りを必要とすることがあります。下塗りは、金属により選択性があります。このため、適切な下塗りを選択してください。

#### ■既存塗膜がある場合

- 既存塗膜がサビ、フクレ、ハガシなどが無く良好な場合は、被塗面のチョーキングやゴミ、ホコリ、油脂類を高圧水洗浄やシンナーなどにより除去し、乾燥した清浄な面に塗装をしてください。既存塗膜が瀝青樹脂塗膜の場合は、下塗りを省略することができます。下塗りを使用する場合は、ビチューロンCプライマーとなります。
- 既存塗膜が瀝青樹脂塗膜の場合で部分的に点サビが

発生している場合は、その部分を処理し、ビチューロンCプライマーを施工し、中塗りや上塗りを施工してください。

- 部分的にサビや剥離、フクレがある場合は、それらの部分を除去(活膜残し)してください(RB種、3種ケレン)。
- サビやフクレ、ハガシなどの面積が大きな場合は、既存塗膜を全面撤去してください(RA種、2種ケレン)。
- 瀝青樹脂系塗料やフタル酸系樹脂塗料が複数回行われている場合は、既存塗膜が固くなり、付着力が低下し、塗装後にフクレや剥離が発生しやすくなります。既存塗膜の全面撤去(RA種、2種ケレン)をご検討ください。
- 既存塗膜の種類により、プライマーの選択が必要になる場合があります。詳しくは4ページのプロチャートをご確認ください。

### ●塗装上の注意事項

- 屋根表面を水洗いした後や雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。
- 塗装後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃未満、湿度85%以上の塗装は避けてください。艶引けや塗膜物性低下の原因になります。未乾燥状態で降雨や夜露にあたると艶引けや白化などの原因につながります。
- 気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。特にエポキシ樹脂系塗料の下塗りは低温になると硬化が遅くなります。また、ビチューロンCプライマーは乾燥が遅くなり翌日ではべたつきや塗膜が柔らかい場合があります。
- エポキシ樹脂系下塗りは気温が高くなると素地温度が上がるため硬化が速くなります。そのため、夏場は、施工間隔を短くして施工してください。
- 冬期に塗装終了後、塗膜乾燥工程で0℃以下になった場合、塗膜の造膜不良となり、ひび割れ、白化、付着不良などの現象が発生し、塗膜耐久性に影響します。このため、塗膜養生を考慮して早めに作業を終了させてください。
- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅が生じることがあります。
- 塗料は必ず規定配合比で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。規定配合比で混合されないと、本来の塗膜性能を発現しない場合や、

仕上りが悪くなる場合があります。

- 規定の使用量が塗られていない場合(少ない場合)、本来の塗膜性能が発現しない場合がありますので規定量を守って塗装してください。うす塗りの場合、早期の耐候性低下や剥離などにつながります。
- 1回の使用量が多い場合、塗膜が割れたり、ビチューロンCプライマーやビチューロンシルバーにおいては乾燥が遅くなり、瀝青系樹脂成分が流れ出たりする場合があります。1回当たりの使用量は守ってください。
- 塗料中に仕様書に規定された以上のシンナーを調合した場合、正常な塗膜物性が得られませんかご注意ください。
- エポキシ樹脂系など塗装間隔を一定以上経過した場合は、次工程の塗料の付着が低下します。塗装間隔を守って塗装してください。また塗装間隔が、仕様書に規定された時間を経過した場合は、目組などの処理やプライマーなどを塗装する必要があります。
- エポキシ樹脂系下塗りは、硬化の途中で水分に触れると白化する場合があります。さらに低温時(約15℃以下)での硬化の場合(硬化後に水分に触れても)も白化するケースがあるので、ご注意ください。なお、白化が生じても塗膜の物性(性能)には影響がありません。
- 塗料は調合前に電動攪拌機などで十分に攪拌してください。2液反応硬化タイプの材料、A液とB液、シンナーは秤を使用して指定の割合で調合して、電動攪拌機などで混合攪拌してください。
- 塗料を小分けして使用する場合は、あらかじめ塗料缶

の内容物を均一になるように攪拌してから小分けを行い、秤を用いて計量し塗料の調合を行ってください。

- 瓦葺屋根や折板屋根の凸部、ハゼ部は下塗り、上塗りともあらかじめ増し塗りしてください。
- 折板屋根でフックボルト部にキャップをかぶせない場合は、工程ごとにタッチアップした後に施工してください。
- 塗装後、降雨や降霜のため、仕上り面に黒ずんだ色ムラやフクレなどが生じることがありますので、塗装時の天候にご注意ください。
- 塗装時の気温や風などにより、厚く塗られた部分が黒ずんだ色ムラになることがありますが、3~6カ月で塗膜中のアルミがリーフィングし、一様に優美なパールシルバーになります。
- メンテナンスのご相談は、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ビチューロンシルバーは添加剤として界面活性剤を含有しており、乾燥工程中の降雨により泡が発生する可能性があります。日時の経過とともに落ちついてきます。詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ローラー塗りの場合、色ムラや黒ずみが発生しやすくなります。
- うす塗りは絶対に行わないでください。剥離や早期退色の原因となります。
- ルーファンや排気ダクトから排出される気体などで、変色やフクレ剥離などが発生する場合があります。

## 「ビチューロンシルバー」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なたつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。

- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 体質により皮膚障害などの感作があります(特にエポキシ樹脂系下塗りのエポラ関連)。感作された場合、その後の当該物質にばく露されることにより再度皮膚障害などの障害を引き起こす場合があります。このため、医師の指導を受け健康障害防止のために必要な措置を講じてください。
- 本製品は、揮発性の化学物質を含んでいます。塗装中などで、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することの無いようにしてください。
- 保管は必ずフタをし、降雨や降雪、降霜、夜露、直射日光の当たらない場所を定め保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本材料は危険物です。消防法や労働安全衛生法などの適用法令に従って保管してください。また、輸送時も消防法や道路運送車両法、船舶安全法、港則法などを遵守してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 施工時は飛散防止のため、充分な養生を行ってください。

\*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

## 日本特殊塗料株式会社

■代理店

### ■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
- 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
- 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
- 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
- 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
- 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

BSCS-0822E-DS/PN#2(\*19) [2022年8月作成] 定価250円(税抜き)